

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長
各市町村教育委員会教育長(札幌市を除く)
(各市町村立学校長)
(各市町村立幼稚園長)
(各市町村立幼稚園型認定こども園長)

様

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 大槻直広

「ハンドサインでストップ運動」実施要綱の策定について(通知)

このことについて、北海道環境生活部くらし安全局道民生活課交通安全担当課長から、別添写しのとおり通知がありましたので、お知らせします。

本運動は、信号機の設置のない横断歩道において、歩行者とドライバーが相互に意思疎通を図る横断方法を提唱し、歩行者保護の機運を醸成して、歩行者被害の重大事故を抑制することを目的とするものです。

つきましては、別添資料(チラシ)及び北海道警察公式チャンネル(YouTube)内にある「1分でわかる!『ハンドサインでストップ運動』」を用いた児童生徒及び保護者への周知のほか、道警察と連携した交通安全教室の実施など、児童生徒に対して信号機の設置のない横断歩道における安全な横断方法について改めて注意喚起をするとともに、横断歩道手前で停止したドライバーと目を合わせ、感謝の気持ちを伝えることなど、本運動の趣旨の周知を図るようお願いします。

記

○ 北海道警察「ハンドサインでストップ運動」広報チラシ

<https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/koutuu/hand-sign/hand-sign.pdf>



○ 北海道警察公式チャンネル「1分でわかる!『ハンドサインでストップ運動』」

<https://www.youtube.com/watch?v=Nj5XDNij5vQ>



(学校安全係)



道生第 1104 号
令和 6 年（2024 年）9 月 10 日

交通安全対策七者連絡会議構成員 様

北海道環境生活部くらし安全局
道民生活課交通安全担当課長

「ハンドサインでストップ運動」実施要綱の策定について（通知）
このことについて、次のとおり策定したので、お知らせします。

記

- 1 策定した実施要綱
「ハンドサインでストップ運動」実施要綱
- 2 決定日
令和 6 年 9 月 9 日

【担当】交通安全係
山本（内線：24-170）

「ハンドサインでストップ運動」実施要綱

北海道
北海道教育委員会
北海道警察
札幌市
公益社団法人北海道交通安全推進委員会
一般財団法人北海道交通安全協会
一般社団法人北海道安全運転管理者協会
(令和6年9月9日 決定)

1 目的

この運動は、信号機の設置のない横断歩道において、歩行者とドライバーが相互に意思疎通を図る横断方法等を提唱し、歩行者保護の気運を醸成して、歩行者被害の重大事故を抑止することを目的とする。

2 運動の名称、スローガン

(1) 名称

ハンドサインでストップ運動

(2) スローガン

～歩行者とドライバー相互の思いやりで、安全で安心な北海道の横断歩道～

3 運動推進機関・団体

北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、
公益社団法人北海道交通安全推進委員会、一般財団法人北海道交通安全協会、
一般社団法人北海道安全運転管理者協会

4 運動の期間

通年

5 運動の対象

本運動は、すべての歩行者及びドライバーを対象に推進するものとする。

6 推進要領

(1) 運動の展開

ア 関係団体等に対する周知

運動推進機関・団体は、それぞれが関係する自治体、自治会、法人、団体、学校等に対して運動の趣旨の周知を図るほか、広く道民に対し周知を図ることとする。

イ 周知方法

運動推進機関・団体は、それぞれが作成、管理する広報誌、ホームページ、SNS等によるほか、新聞、ラジオ、テレビ等のメディア、街頭などの大型ビジョンやデジタルサイネージ、街頭啓発をはじめとする交通安全行事、イベント、学校等での講話などの機会を通じ、運動の周知を図るものとする。

(2) 歩行者に対する提唱内容

歩行者は自ら横断歩行時の安全を確保するとともに、ドライバーに対する思いやりのある行動を実践することができるよう、次のことを提唱することとする。

ア 横断歩道がある場所の近くでは、横断歩道を横断すること。

イ 横断歩道では横断前に立ち止まって左右を確認し、手を上げるなどの合図（ハンドサイン）でドライバーに横断する意思を明確に伝えること。

ウ 横断歩道手前で停止したドライバーと目を合わせ、会釈するなど、感謝の気持ちを伝えること。

エ 車が停止しても左右の安全を確認してから横断を開始すること。

オ 横断途中も、左右の安全を確認し、他の車が近づいていないか確認すること。

カ その他横断時における交通事故防止に資する内容

(ア) 信号機の設置された横断歩道を横断する際は、信号表示に従って横断し、青色信号でも横断開始前に左右の安全を確認してから横断すること。

(イ) 夜間に外出する際は、反射材を装着すること。

(3) ドライバーに対する提唱内容

ドライバーが横断歩道上の歩行者保護のため、交通法令を遵守して車両を運転するとともに、歩行者に対する思いやりを持った行動を実践することができるよう、次のことを提唱することとする。

ア 「横断歩道は歩行者優先である」ことを認識すること。

イ 横断歩道手前には、前方に横断歩道があることを示す道路標示（通称「ダイヤモンドマーク」）があり、横断歩道に接近する場合には、その手前で停止できるような安全な速度で進行しなければならないこと（横断しようとする歩行者がいないことが明らかな場合を除く。）。

ウ 横断歩道に横断中の歩行者又は横断しようとする歩行者がいるときは、必ず横断歩道の手前で停止すること。

エ 停止後、横断しようとする歩行者に対して、周囲の安全に配慮しつつ、「お先にどうぞ」と手で合図（ハンドサイン）すること。

オ 夜間は、余裕を持って歩行者を発見することができるよう、前照灯をハイビー

ムにして走行すること（ハイビームにすることにより対向車などのドライバーの目を眩惑させるおそれがある場合などを除く。）。

7 その他

本運動の推進にあたり必要な事項は、別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和6年9月9日から施行する。

ハンドサインでストップ運動

～歩行者とドライバー相互の思いやりで、安全で安心な北海道の横断歩道～

歩行者

- 横断歩道を横断する前に、車が来ていないか左右の安全を確認し、手をあげるなど合図（ハンドサイン）をして、横断することをドライバーに知らせましょう。
- 横断歩道手前で停止したドライバーと目を合わせ、感謝の気持ちを伝えましょう。
- 車が止まっても、左右の安全を確認してから横断を開始しましょう。
- 横断途中も、再度左右の安全を確認し、他の車が来ていないか注意しましょう。



ドライバー

- 道路上のダイヤモンドマークは、この先に横断歩道があることを知らせる表示です。
ダイヤモンドマークを見たら横断歩道の手前で停止することができるよう安全な速度で走りましょう。
- 横断歩道は歩行者優先です。
横断歩行者又は横断しようとする歩行者がいるときは必ず止まりましょう。
- 横断しようとする歩行者に対し、「お先にどうぞ」と手で合図（ハンドサイン）をしましょう。



北海道警察